



# 「有害危険ごみ」を無料収集します

小型充電式電池などが原因とみられる発火事故が全国的に増加しています。安全安心なごみの収集・処理体制を確保するために、分別にご協力ください。

**問い合わせ** 清掃事業課 (西24北4、☎37・2311)

## 「有害危険ごみ」として収集するもの

4月から、①乾電池・コイン電池、②水銀体温計・水銀温度計・水銀血圧計、③蛍光管、④ライター類、⑤小型充電式電池類、⑥加熱式たばこ・電子たばこを「有害危険ごみ」として無料収集します。

## 「有害危険ごみ」の出し方

①～⑥をそれぞれ透明または半透明の袋（蛍光管は購入時の箱や筒）に入れて、「燃やさないごみ」の収集日（1週おきの水曜日）の午前9時までに、決められたごみステーションに出してください。

## 有害危険ごみ（令和4年4月～）

- ① 乾電池・コイン電池
- ② 水銀体温計・水銀温度計・水銀血圧計
- ③ 蛍光管
- ④ ライター類<sup>※1</sup>
- ⑤ 小型充電式電池類<sup>※2</sup>  
(小型充電式電池・モバイルバッテリー)
- ⑥ 加熱式たばこ<sup>※3</sup>  
・電子たばこ



中身(ガス)が残っているものも出すことができます



ショートによる発火事故の恐れがあるため、金属端子部分をテープなどで覆ってください



※1 ライター類はこれまで「燃やさないごみ」でしたが、「有害危険ごみ」で収集します。  
 ※2 小型充電式電池類のうち、JBRC会員企業製品は、家電量販店やホームセンターなどのリサイクル協力店に持ち込みください。  
 ※3 加熱式たばこのうち、Ploom、glolは、日本たばこ協会のリサイクル協力店に持ち込みください。

販売店などのリサイクル協力店でも、小型充電式電池類、加熱式たばこを回収しています。回収対象製品などの詳細は、右の二次元バーコードより確認してください。  
 なお、破損、変形、水没などによりリサイクル協力店で回収できないものは「有害危険ごみ」として収集します。



## 今月はアメリカバイソン

おびひろ動物園では、サクラコとグランの2頭を飼育しています。サクラコは警戒心が強く、小さい子どもたちが元気に話しながら近寄ると、遠くへ離れてしまうことがあります。グランはそんなサクラコの目を盗んで、大好きな配合飼料を横取りして食べようとする、ちゃっかり者です。



サクラコとグラン

1歳年上のサクラコの方が立場が強く、グランはいつも顔色をうかがっているようです。



takaya\_p03さん提供



アメリカバイソン担当 高橋さん



ヤマケイさん提供



chiemi\_gbさん提供

## おびひろ動物園の動物たちの写真を大募集！

動物園長と広報担当で厳選し、魅力的な写真を当コーナーで紹介します。次回(6月号)の紹介予定の動物は「シロフクロウ」です！

Instagramの場合…「#広報おびひろZOOレター」を画像に付けてアップ  
 Eメールの場合… photo@city.obihiro.hokkaido.jpに画像(5MB以内)を添付して送付

※提供された写真は、次回のZOOレターで紹介したり市の広報物などに使用場合があります。その場合、個別にお知らせはしません。写真に関する問い合わせは、広報広聴課へ。



## 市政のお知らせを放送しています

◆テレビ 市役所だより(OCTV 11ch) 毎日4回放送していて、市ホームページからもご覧になれます。

◆ラジオ(毎週月・水・金曜日) おびひろタウンインフォメーション(FM-JAGA77.8MHz)9:15~9:20 おびひろ広報メモ(FM-WING76.1MHz)9:30~9:35

## 広報おびひろの感想を聞かせてください

最後まで読んでいただきありがとうございます。よりよい広報紙にするために「こうした方が読みやすい」など皆さんの感想をお聞かせください。  
**問い合わせ** 広報広聴課(市庁舎3階、☎65・4109、FAX 23・0156、Eメール report@city.obihiro.hokkaido.jp)

## OBIHIRO CAMERA REPORT オビヒロ カメラレポ

男女共同参画講座「家事シェアのすすめ～快適なおうち時間を過ごすために～」を開催しました。国の調査では、共働き世帯が7割を占める中、家事・育児の分担割合はいまだに夫1割、妻9割というデータがあります。講師の田川瑞枝氏からは「仕事も家事もジェンダー平等。共働き・共家事・共子育てを実践しましょう。」と、体験談を交えてお話いただきました。皆さんも家事をシェアし、家族全員の幸せ時間を整えてみませんか。(2月23日、とかちプラザ)



田川瑞枝氏  
と過ごすために

「スマートフォンを持ってみたいけど難しそう…」というシニアのための、スマートフォン体験教室を民間企業と協力し開催しました。

実際に用意されたスマートフォンを操作して、地図機能でアメリカの自由の女神像を探したり、カメラ機能で写真撮影や二次元バーコードを読み取る方法などを学びました。参加者からは「来てよかった」「思っていたよりいろいろできて面白かった」などの声が聞かれました。

スマートフォン体験教室は令和4年度も開催を予定しています。広報おびひろなどでお知らせするので、気になる人は参加してみたいかどうか。(3月4日、とかちプラザ)



シニア向けスマートフォン体験教室